

平成30年度 百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・ 日本史研究	学年	第3学年	教科書	『詳説日本史』(山川出版社) 『最新日本史図表』(第一学習社)
		単位数	2単位	副教材	

学習目標
2年次に履修した日本史Bの通史的学習を前提に、19世紀の江戸幕府末期以降の日本の近現代史の政治・社会経済的分野を重点的に学び、世界の情勢や国際関係の流れに留意しながら、歴史的思考力を養うとともに現代日本が抱える課題の背景などを理解していきます。

学習方法
○政治史や社会経済史・外交史・文化史などの諸要素を総合的にとらえ、その中で課題や問題点を考察し、歴史的視点や思考の能力を養います。
○文献史料や写真、映像等の資料を活用し、歴史的事項の把握し理解を深めていきます。
○最近の入試問題を利用して問題演習を行い、入試への実戦感覚を磨きます。

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	近現代の日本史に対する関心と問題意識を深め、当該の歴史的事項の問題を認識している。
b	思考・判断・表現	日本の近現代史の展開から課題を見出し、多面的・多角的に考察し、現代日本の特質についての認識を深め、現在の政治・経済・社会に通じる問題について、歴史的視野を踏まえた公正な判断をしている。
c	資料活用の技能	日本の近現代史の展開に関する諸資料の中から有用な情報を選択して活用することを通して歴史事象を追及する方法を身につけている。
d	知識・理解	日本の近現代史の基本的な事柄を、政治・経済・社会の流れや国際関係などの視点に立って総合的に理解し、その知識を身につけている。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価基準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	近代の日本と世界	14	近代国家の形成と19世紀の世界	・国際環境の変化と幕藩体制動揺 ・明治維新と近代国家の形成 ・立憲国家の成立と文明開化 ・作業プリントと解説による学習内容の確認	○	○	○	○	a幕末の政治・社会の動向や明治維新による近代国家の形成に関心を持ち、幕末の対外関係や国内産業及び思想の発展を意欲的に追究し、それが日本の近代化の基盤になったことを考察している。 b開国に至る経緯と明治新政府の政策や自由民権運動と憲法制定・国会開設に至る過程、文明開化の様相、及び条約改正をめぐる外交の推移を的確に考察し、結果を適切に表現している。 c幕末から明治中期までの文献史料、画像・写真等の諸資料を活用し、当該時期の政治・外交・社会・文化の事柄を的確に調べている。 d日本の近代化への歴史的過程を幕末・明治期の政治・経済・外交・文化の基本的な事柄から理解し、その知識を身につけている。	・作業プリントや入試課題の状況 ・ノート確認 ・確認テスト
			近代日本と歩みと国際関係	・国際関係の変容と近代産業の成立 ・第一次世界大戦と日本 ・政党政治の展開と市民(大衆)文化の形成 ・作業プリントと解説による学習内容の確認	○	○	○	○	a国際関係と国内情勢の変化に関心を持ち、日清・日露戦争に至る背景と過程、明治末から大正期への政治・経済・社会の流れを意欲的に追究しようとしている。 b近代産業の成立や日清・日露戦争の結果により国際情勢における日本の台頭を大正デモクラシーという議会中心の政党政治との関連で考察し、その背景や過程を適切に表現している。 c明治末から大正期までの文献史料、画像・写真等の諸資料を活用し、当該時期の政治・外交・社会・文化の事柄を的確に調べている。 d近代化の進展や戦争の内容による政治・社会構造の変化、大衆文化の出現などに関する基本的知識を身につけている。	・作業プリントや入試課題の状況 ・ノート確認 ・確認テスト
後期	現代の日本と世界	18	第二次世界大戦と日本	・世界恐慌と軍部の台頭 ・第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 ・戦後の政治と社会 ・作業プリントと解説による学習内容の確認	○	○	○	○	a世界恐慌に対する列強の対応と日本の政治における軍部の台頭について関心を持ち、アジア太平洋戦争に至る過程とその結果を意欲的に追究しようとしている。 b世界恐慌による国際情勢の変化と日本の政治・社会の軍事化を関連づけて考察し、アジア太平洋戦争に至った背景や戦後の日本の復興過程を適切に表現している。 c昭和初期からアジア太平洋戦争までの文献史料、映像・写真等の諸資料を活用し、恐慌からアジア太平洋戦争に至った過程や背景を分析、考察している。 d世界恐慌からファシズムへの世界情勢の流れの中で日本がアジア太平洋戦争に至った経緯、及び戦後の日本の復興に関する基本的知識を身につけている。	・作業プリントや入試課題の状況 ・ノート確認 ・確認テスト
			激動する世界と日本	・経済国家としての発展 ・冷戦の終結と政治と社会の動揺 ・経済大国の終焉と政治改革 ・作業プリントと解説による学習内容の確認	○	○	○	○	a日本国憲法の制定など戦後の政治・社会の民主化の流れから経済の飛躍的発展による戦後の新たな社会形成に関心を持ち、その後の国際情勢の推移の中で日本の政治や外交がどのように変容していったかを意欲的に追究しようとしている。 b経済発展・貿易立国等の日本経済の歩みが政治や社会にどのように影響し、現在の日本の課題となっていたかを考察し、適切に表現している。 c戦後の昭和後期から平成までの新聞等のマスメディアや映像・写真、政治家・経済・文化人などの発言等を活用し、戦後から現在までの日本と世界の政治・経済・社会の推移を考察している。 d戦後日本の政治・経済・文化や国際情勢に関する基本的知識を身につけている。	・作業プリントや入試課題の状況 ・ノート確認 ・確認テスト
合計時数(55分授業)		64								